



# なすびの花



発行者：検査課

掲示期限：令和元年5月31日 (金)

掲示許可：総務課

PDCA&SDCA

品質管理のお話の中で、よくPDCAという言葉が出てきます。皆さんも聞かれたことがあるかと思いますが、PDCAは、比較的大く使われる言葉ですが、同時にSDCAというものもあります。

PDCAとは、

◆ Plan : 計画

仕事の目的を決め、仕事の手順を明確にし、作業に必要な設備・道具、力量、作業環境などの資源を明確にする

◆ Do : 実行

明確化した手順について作業者に教育を行い、決められた通りに作業を行う

◆ Check : 評価

作業が決められた通りに実施されているか、作業の結果がねらい通りになっているかを確認する

◆ Act : 処置・改善

仕事の成果を含む実施状況に問題が発生した場合または、問題が発生する可能性がある場合は、処置をとる

というサイクルを回して、

品質の良いものを生み

出す。プロセスをどんどん

良くするために、どんどん

改善を進めていくことが

です。



わけて、とどんどん改善を進めていくと、作業手順や手

法が、理想の形になっていきます。この理想の形が

後戻りしないように歯止めを行うために標準化

を行うようにします。

同じ理由で、SDCAとは、

SDCAとは、

◆ Standardize : 標準化

作業を行うための計画であり、作業が効果的かつ効率的になるような手順が明確化されていること

◆ Do : 実行

明確化した手順について作業者に教育を行い、決められた通りに作業を行う

◆ Check : 評価

作業の結果が意図した状態になっているかどうかを監視・測定することです。それは、チェックすべき点検項目、管理項目、管理周期、記録に基づいて

◆ Act : 処置・改善

作業の結果が意図した状態からずれていた場合や、このままだと問題が発生するよう見られる場合は、修正や是正処置をとること

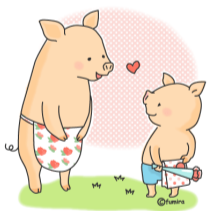
品質管理だけではなく、様々な場面で使うことができます。PDCAの4ステップ。そして、たどりついた理想の形を維持管理するSDCAの4ステップとなります。

工場内や間接部門（製造以外）でも、部署ごと、部署の業務内容は、作業手順などを考え、作業指導書などを作成し、誰が入っても、作業の仕上がり状態が変わらないように、PDCAサイクルとSDCAサイクルを回して、日々の業務が行われています。

4月～5月人事報告

一育休明け復帰

5/16～



指差呼称

先日、帰宅時に車で走っている時に、営業のHさんの車の後ろを走っていることに気づきました。信号が赤から青に変わって、Hさんが交差点を右折する時に、電車が発車する際の車掌さんのように、右手で前と左右に指差して安全を確認されている様子が見え、後ろからちょっと笑いながら見てしまいました。この一件を、後日Hさんに確認したところ、前職で、安全管理のお仕事もされていたそうで、この動作を「指差呼称」と言って、危険予知のために、とても大切なことなのだを教えていただきました。



自動車教習所でも習いますね。実際に統計もあり、この指差呼称により、100%までは行きませんが、意識レベルを上げ、確認の精度を向上させる有効な手段であると言えるようです。

この指差呼称、そしてPDCA・SDCAを参考に、初心に戻ってみませんか？

検査課では、この4月より、初心に戻り、検査課一丸となってリスクをくいとめよう！

というスローガンを掲げて、全員で指差呼称し、慎重に丁寧に、製造課さんの1個確認、そして、出荷検査を行っています。今後、しっかりと存在意義を高めて参ります。

[予告]

今年もイーエル夏祭りを企画中です。

日程：2019年8月 日 ( )

お楽しみに！